

ごあいさつ

このたびは追手門学院大学附属図書館宮本輝ミュージアムにご来場いただき、誠にありがとうございます。

追手門学院大学の第1期生であり芥川賞作家でもある宮本輝氏の小説は、数多く映画化されています。とりわけ「泥の河」「螢川」「道頓堀川」の川三部作は代表作としてよく知られており、いずれも映画化されています。また、2013年に映画「草原の椅子」が公開されたことは記憶に新しいところでは。映画は宮本文学の魅力を広く知らせるという意味でも、大きな役割をはたしてきたのです。

今回、企画展「小説から映画へI」は川三部作を取り上げながら、映画のポスターやパンフレットなどを展示することによって、宮本文学の魅力を知るための手がかりを提供します。この企画展は宮本輝ミュージアムが新入生の皆さんのみならず、多くの方々にも宮本輝氏の世界に触れていただきたいと思っ用意した1つの入口です。「泥の河」の最も印象的なシーンの1つに触発されたシンボル展示が、皆さんをお迎えします。

今回の企画展に際しまして、多くの方々のご協力をいただきました。関係各位の多大なるご協力に感謝し、この場を借りて深くお礼を申し上げます。

宮本輝ミュージアム

プログラムディレクター 橋本裕之

(追手門学院地域文化創造機構特別教授
追手門学院大学社会学部教授)